

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

1. 研究課題名	胆道癌術後長期生存因子の検討			
2. 対象患者	1999年1月から2017年3月までの期間に、弘前大学医学部附属病院において手術を行った胆道癌(肝内胆管癌、肝門部領域胆管癌、遠位胆管癌、胆嚢癌)患者さんが対象です。			
3. 対象となる期間	倫理委員会承認日から平成29年3月31日まで			
4. 実施診療科等	医学部附属病院消化器外科、大学院医学研究科消化器外科学講座			
5. 研究責任者	氏名	木村 憲央	所属	医学部附属病院小児外科
6. 研究の意義	胆管癌は進行癌で発見されることが多く予後不良であり、腫瘍の主な占居部位によって膵切除、肝切除、もしくは肝膵同時切除を伴う侵襲の大きな手術が必要です。胆管癌の進展様式は胆管壁外へ進展する垂直方向浸潤と、胆管壁に沿って進展する水平方向浸潤が存在します。画像技術が進歩した現在においても水平方向浸潤を術前に診断することはしばしば困難であり、根治切除率(切除断端における癌の陰性率)は60~80%にとどまっています。一方で、水平方向浸潤の中でも胆管切除断端における浸潤癌遺残群は予後不良ですが、上皮内癌遺残群は根治切除群と比べて予後に差がないという報告も存在します。実際に上皮内癌遺残であったにも関わらず長期生存を得ている症例が存在し、長期生存に関連する因子の全貌は明らかにされていません。本研究は当科で切除した胆道癌症例の術前・手術・術後情報を検証し、胆道癌術後長期生存因子の解明に寄与します。			
7. 研究の目的	胆道癌の長期生存に関連する因子を明らかにします。			
8. 研究の方法 (使用する資料等)	過去の診療データ(既存情報)を使用する研究であり、患者さんに新たな負担や費用が生じることはございません。既存情報は診療録を利用して収集し、病歴、年齢、性別、身長、体重、血液検査所見などの術前情報、手術術式、合併切除臓器、病理組織診断などの手術関連情報、合併症、経過などの術後情報を使用します。			
9. 個人情報の保護	対象者のプライバシーに十分配慮し、情報の漏洩防止に努めます。調査結果については研究目的以外に使用することはありません。データは弘前大学医学部附属病院消化器外科ならびに大学院医学研究科消化器外科学講座内でのみ管理し、対象者の個人情報は外部に漏らすこととはございません。研究内容と連絡先を当科ホームページに公開し、対象者の参加撤回の自由を確保します。			
10. 利益相反に関する状況	本研究における利益相反はございません。			
11. 問い合わせ先	〒036-8562 弘前市在府町5 弘前大学医学部附属病院 小児外科 木村 憲央 メールアドレス:norihisa@hirosaki-u.ac.jp			
	電話	0172-39-5079	FAX	0172-39-5080

提出先

医学部附属病院 総務課

総務グループ 総務・広報担当

E-mail : jm6453@hirosaki-u.ac.jp